

認知症作業療法 活動報告（概要）

埼玉県作業療法士会では、地域支援の基盤強化を目指し、2013年に当士会で発足した認知症地域支援推進部を中心に、多職種を対象とした認知症専門研修や地域支援の企画実践研修を継続的に実施。

認知症の人と家族の会との共催を最優先事項に掲げ、また当士会自らが立ち上げたカフェの継続、認知症専門研修受講者によるブラッシュアップなど発展的に地域支援をおこなっている。

昨年度より、当事者を含め多職種（職種、年齢、地域関係なし！）で結成している“これでいいのだBAND”を通して、当事者や支援者の水平な関係作り・支援を目指して活動している。

認知症専門研修（初級・中級・上級コース→基礎・応用コース）

2014年度より認知症専門研修 初級・中級・上級コースを実施。初級813名、中級439名、上級186名、合計1438名が修了。2019年度から基礎・応用コースに内容をコンパクトかつ凝集させて、ブラッシュアップを図っている。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、予定していた研修は全て中止。オンラインの研修に切り替え、基礎コースを2回に分けて実施する予定。さらに応用コースとして、京都府士会とのコラボ研修も予定されている。

認知症の人と家族の会との共催

県内4カ所での『若年のつどい』を中心に参加、昨年度は61名の会員が派遣された。今年度も昨年同様に派遣予定であったが、感染症対策のため、人数を制限して派遣する形となっている。

若年性認知症の方や他職種団体とのスポーツ大会の企画・運営にも携わった。



オレンジカフェの実施

認知症専門研修地域実践研修において立ち上げたカフェへは継続的に参加、支援しており昨年度は164名の会員が派遣された。OT主導ではなく、徐々に地域移行ができつつありカフェの内容もブラッシュアップされている。今年度は、一部のカフェが再開となっており、人数を制限し会員を派遣。コロナ禍におけるカフェのあり方や支援方法の検討が課題となっている。



RUN伴共催

若手メンバーを中心に、ルート運営やイベントの企画を行い、後日行われたゴールイベントでは駅前のスペースにて音楽隊が演奏を行った。昨年度は約50名の県士会員が参加。今年度も昨年同様参加予定であったが中止の運びとなっている。



当事者とのバンド活動

若年のつどい支援の流れから、当事者・県士会員や他の専門職でバンドを結成。昨年度は、RUN伴埼玉のゴールイベントや県内養成校での講義、地域のイベントへの参加、研修会での披露も行った。今年度は、オンラインでの定期練習再開に向けて模索中。

